

親和性臓器

親和性臓器 しんわせいぞうき

体内に取り込まれた放射性核種は血液などの体液中に移行し、体液によって運ばれて臓器や骨、筋肉などの組織に蓄積する。体内に取り込まれた放射性核種の化学的性質によって、臓器や組織の種類ごとに蓄積する放射能が異なる。特定の放射性核種に着目した場合、それが特に蓄積しやすい臓器や組織を親和性臓器という。水素の一種であるトリチウム（H-3）が水となった場合やC s-1 3 7などは全身にほぼ均等に分布するので特定の親和性臓器はない。C a-4 5やS r-9 0の親和性臓器は骨、I-1 3 1では甲状腺である。

<登録年月>

1998年01月
